

ANMITSU TOUHO HISTORY

Vol.

3

R-18
FOR ADULTS





2016/12/29 C91
からかい上手のアリスさん！



お待ち
しましたっ

いつも
僕を待
つてて
くれて



優しくて
清廉で
凄く
綺麗な
人で



最近
になる
人が
います

その人
とは
近頃
よく
会う
よう
にな
って

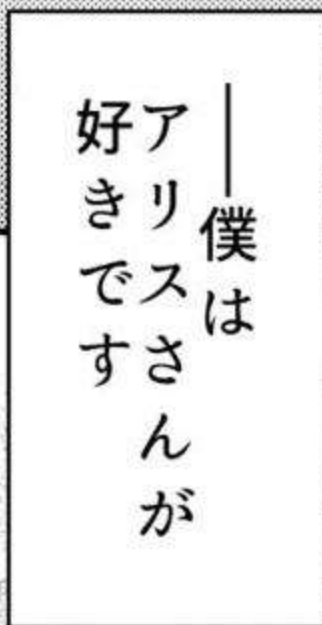


会うと
凄くド
キドキ
する

やっぱり
来てく
れたね

おいで
おいで

ほら
こっち
で一緒
にお茶
しよっ



僕は
アリス
さんが
好き
です

はいっ



君は本当に人形が好きなんだね

はい……

その子はね、自信作なんだ

最初は緊張したけど、アリスさんは凄く優しくして

今はこうして二人で喋りまわりました

そ、そうですね……

本当は人形のことからいけど

アリスさんとお話ししたくて、話合せています……



このレースは、どうやって……

ここはね、裏から……



アリスさん、喋るの近くで……

時々、身体が当たってドキドキして……

顔に出ないよう、大変です

なるほど、ああああ



……
そうだった



部屋全体から
落ちてくれないで...

ここが
アリスさんの
お部屋...

じゃあ
ちよつと
この部屋で
待っててね

は、はひっ



アリスさん
の.....ッ!?

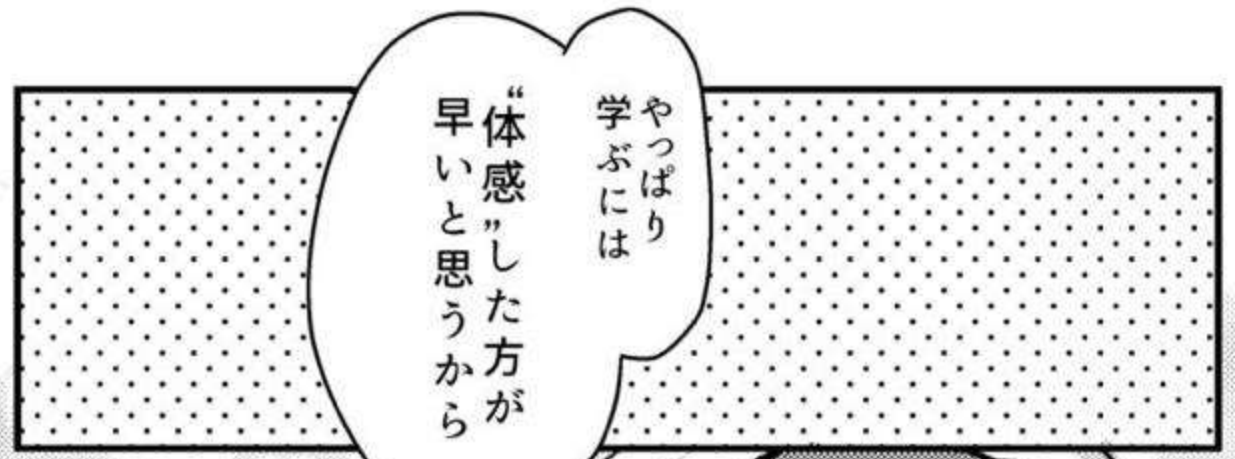
え.....
これって...
まして...

落ちてけ...
ここにきたのは
ただ人形の話は
すだけ...

ん?

なん...?
だろ...?
なんか...
落ちて...

あ...









あ、アリスさん…！
み、み見え
見えちゃって…！

ん？
女の子だから
問題ない
よねえ？

ほら
舐めとって
綺麗にして
あげるからね♡



う…わ…ここ
アリスさんの
匂いが充満して…

しかも僕のが
舐められてる…
アリスさんは
僕を慮ってして
くれてるだけなのに

ん…♡
ひんひん…
ほ…

あ…
あ…
あ…



アリスさんの
唇と舌の感触が
僕のに
ついて
きて…

また気持ち
よく…なっちゃ…

あ…
あ…
あ…

あ…
あ…
あ…



でも本当にあんなに女の子らしい男の子かなあ

ちよつと信じられないかなあ

そんなぶわっ

信じてくださいっ男の子なんですっ!

じゃあ君の男らしいところを見せてくれたら信じてあげるっ

ギョー!!

男...らし...え?



私のここに

君が男の子だつてところ

見せてみてっ



えっあの...

ちよつ



アリスさ...!?

ほらっ



だ、だって...

おっ

ほらほら
男の子なら
もつと
パンパン
ちゅーちゅーって
頑張らないと♡



アリスさんと
こんなこと...っ
気持ち
よすぎ
僕...っ

真っ赤になって
震えちゃって
女の子みたい

やっぱり
君は女の子
なのかなあ?♡
女の子♡
女の子♡



ち...
違いますっ

ん...?

ギン



僕は男の子
です…っ！男の子
なんですっ

信じ
て…っ！
信じて
くださいっ！

必死に
腰降つちやってえ

男の子なら
どうするの
かな？
どうしちゃう
のかなっ



出したいっ
アリスさん
にいっ！



ああ…凄い…
男の子のが…
いっばい…

う…あつ…
止ま…
止まら
な…っ

だあめ…
もっとお…
もつとしないと私
男の子って
分からないなあ…

ほく…
ほく…

ほく…
ほく…

いぎま

え…っ！



アリスさん...
こころですかあ...

んんん

んんん



ああッ
だめだめッ
まだ分かんないッ
分かんないなッ

もつと
びゅってしないと
信じれないかなあッ

もつと
ですか...



男の子なら
ちゅーも
しないとお
ちゅーって

はっ
はっ
はっ



おつふあいも
ぎゅぎゅ...ふえ

ふっ
ふっ
ふっ

はっ
はっ
はっ



もっと
激しくしてっ♡

そしたら
イツちゃ...

アリスさん
大好きって
言いながら
びゅってして♡

じゃなくて
信じちゃう
かもだよっ♡

ほんと
ですか...



好き...っ

好き...っ

アリス
さん...っ!

アリスさん
大好きっ

アリスさん
大好きっ!

僕...っ
ぼく...っ

はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

じゃあまた
男の子らしいとこ
見せてくれたら……

——私は
この男の子が

大好き
♥

許して
あげよう
かな？
♥





2016/05/08 例大祭13
お世話しないぞっつらっお姉ちゃん！









だってだって
ずるいずるい

私ども扱い
ばっかりで……

私も
頼りたり

可愛い
弟とか
欲しい
!!!



ヤリク

また訳の
ない
痲痺を……

お姉さんぶって
みたい年頃

それにお世に
話する事
でし
大目に見よう
と
思っ
てね



心配
ないわ
要ら
ない

男の子は
召喚した
精霊で

感覚は常に
共有してる
から
支配下にお
ける
ように
なってるし

何よ？
妹の成長が
不
服？

そういう事
じゃなくて……
なんか
いうか！

そう……
いや、でも……

あんな
合子
の
我
尽
に
付
き
合
う
と

ろくな
事
が
な
い
わ
よ……

……？



—これからは
強者が力を失い
弱者がこの世を
すべるのだ—

下克上に息巻く
天邪鬼だったけど
あっさり
はくれないの巫女に
のされるのでした—

わー
はくれないの巫女
つよーい



あれ？
眠くなつて
きちやった？

うん…

ふー
ふー
ふー



あれ？



まったく…
レミイも
心配性ね
何を
気にして…

ほら
ぬぎぬぎ
ねーっ
うん



精霊の方も
問題ないし
私ももうな
寝ようかな…

おふ



じゃあ
着替えて
寝よっかっ
うんっ
よしよし…
きちんと
面倒見れてる
ようね…



どうしたの？
ちんちん腫れ
ちやってるよ！

わかん
ない…

熱くて
びくびく
しちやってる…

痛い？

ううん…

もしかして…
勃起…
してるの…？

精霊って言っても
男の子ってこと
なのね…

これって
…



まったく
フランしたら
何にも知らない
んだから…

あなたに
性教育は
まだ早い
っての…



制止とか
め御しな
いと

フラン
ちよつと
待ちなさつ…

痛っ？



悪いところは
よしよしすると
良いんだよ

よ…

うん…
キモチ
いい…

男の子が
簡単な
男の子
外なる
予想起
だわ…





わあ…っ

ま、待って
これマズイ…



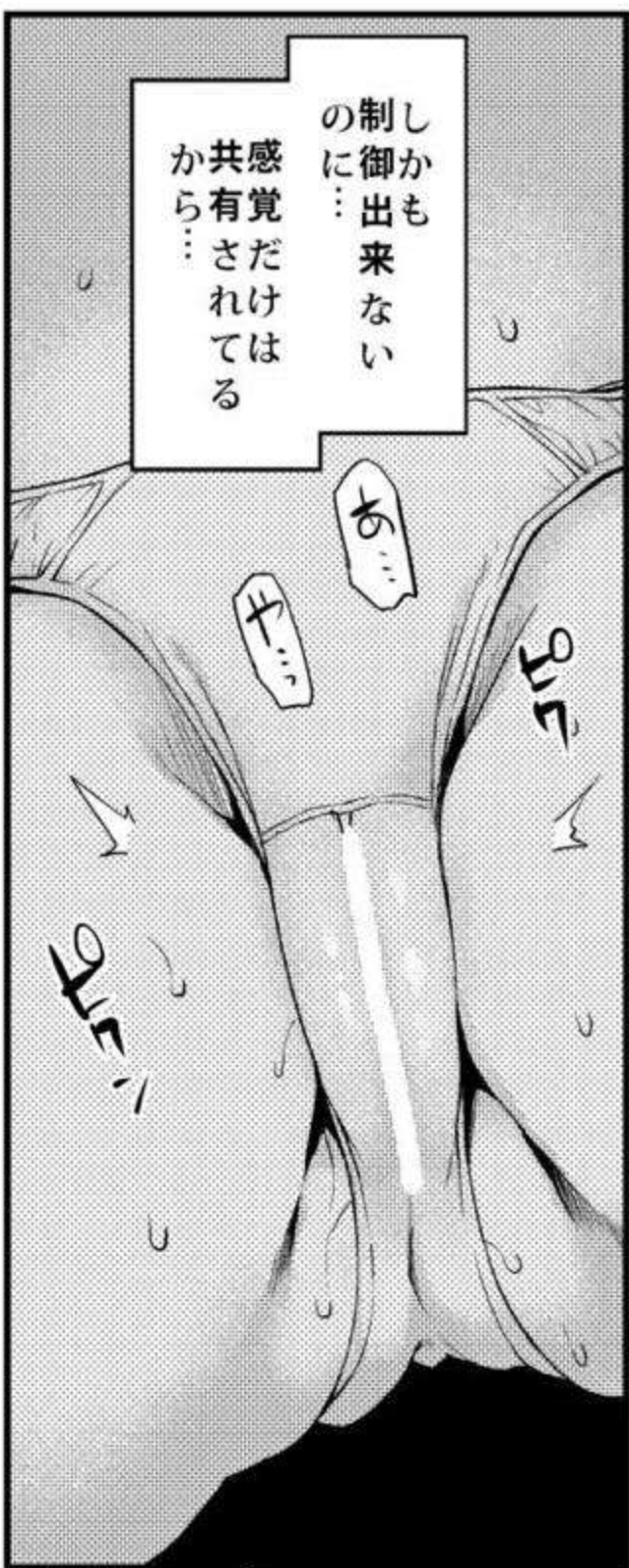
じゃあ…
僕…おっぱい
見たい…っ

おっぱい？



あははっ
くらっ

おっぱい…
おっぱい…っ！



しかも
御出来
ないの…
感覚だ
けは
共有さ
れては
るから…

この制
御を
失った
から…
本能だ
けで
行動し
ちやっ
てる…っ



そんな
くっつ
いたら
なでな
でしづ
らいよ



快感だけ
流れ込んで
くる……っ

何コレ……?

これちが
らんれちが
てん
感……っ



強い……
好き……っ
もっとお……

や……
やだ……っ!

イッちやう……っ!!

わっ

キス……っ
キス……っ
キス……っ

の止こ
にめん
……た
ない……

勝体
手が
に……

はいっ
よしっ
……っ

お姉
……っ
お姉
……っ

お姉
……っ
お姉
……っ

お姉
……っ
お姉
……っ





あぁっ

あぁ

あぁっ



うん
満足う…
もう
出ない…

よ、ようやく
終わったあ……



ちんちん
縮んじやったー
満足
できた？



もう
ぐちゃぐちゃ
だね
六回くらい
出したかな？

何なのよお…
もう頭が
真っ白で…

こんな
抵抗
出来ない…

あつ…



幸い…
精霊に性知識は
与えてなかったし
さすがに
この以上の
事は起きようが…

そっかあ…

じゃあ
お姉ちゃんの
お願いも
聞いてくれる？



ドキ
ドキ

ほんとだ…
なんかヒクヒク
してる…

何してるの
しそたら…

お姉ちゃんのも
弄ってえ…♡

なんかね
お姉ちゃんの
ココもね
ぐちゃぐちゃに
なってるや…



あ
ほんとだあ…

ぷんぷん

お姉ちゃんの
見たら…
なんか
僕も…

な—っ?!

あ—もうっ!
また勃っちゃった
じゃないっ?



んんん…



じゃあ
お互いに
しよっか…

ちよ
ちよと
待って…

そ、それ
つて…

うんっ
あいっ
するっ

はい
ぐりぐり…



あ...
これキモチ
イイー...
もっつ
ぐりぐり

もっつ
奥...
もっつ

や、うそ
しちやダメ...!
それだけは...!

あああ...
フランの
お〇んこの
感触があ...!
はいっちゃん...
入っちゃん...!



セックス
だめえ...っ!!

だめ...!
それダメえ...ッ!

はいっちゃん
たま...
は...
は...
は...

は...
は...
は...

は...
は...
は...



こんなの
キモチ
耐えられ
ないの...♡

ああ...
もうムリ...
耐えられ
ない...



フロアの
感じる...♡
ちんちん
絡み付い
てに
きて

ニギハキ

トキ

すごー

セックス
すごー
おー♡





でもこれ…
ちよっとイイ…
次は私
だけで…

もう指一本
動かさない…

つつ…
つかれた…あ

すごい…
キモ千よかったあ…
僕もう満足う…

あ…あ…
あはあ…
アハハ…

だあめっ

禁忌「フォーオブアカインド」



こんなに
気持ちイイの
も…としたいもん

だから
4人分満足
させてね♡



ああ…
あ…う…

あ！
ウソ…う

あむ…
え…



りぱ
すち
いゆ
す

この前は
最後ちよつと我侘
言っちやっただけど
次はちやんと
お姉さんする
から

だから次は
まとめて弟四人
欲しいな！♥

やだやだやだ
無理無理絶対
もう勘弁してっ！！

だから
言っただのに…





2017/08/11 C92

慰め上手のこいしちゃん



ねえ

ねえ

ねえ

ねえ

なんで泣いてるのー？

泣き虫？
泣き虫なの？

じゅわ...

.....

泣き虫じゃない...っ

全然泣いてないし...
なんでもないし...っ

えー？
嘘だろっ

いつもみんなの中で遊んでるのに
今日は一人でずっと端っこにいるよー？

ねえ
なんで？
教えろ
泣きむしらい

お僕は...
お姉ちゃん...
嫌いだっ...
た...
の事が

はーん









なんかちんちん
膨らんでる…
なにこれー？

ちんちん

そ…それは

知ってる

し、ししし
知らないっ



あれー？
あんまり
泣かない…

おかしい
な…
お？



そっか
なんだろうー？

ちよ…
そこ
弄っちゃ…っ

…っ！



パンパンに
膨らんでて
お汁が
溢れてきてて
…っ

ズル
ズル

そっかっ
「ミニ」に「涙」が
溜まってるんだねっ！

ふえ！



ほらほら
こつち撫でたら
涙いっばい出てきたよ

ち、違
これはあ……っ

はいはい
素直になっ
ていっばい泣い
うね



知らな
かった
男の子は
ちんちんから
泣くものなんだねっ

ちよ
ちよ
つと
!?



泣い
ちやえっ



我慢
しないで

ほら
泣け
泣け



ほらほら
ちんちんで
えくんえくんって

すごいすごいっ
ズルって剥けたら
ドクドクって
涙溢れてきたっ♡

よしよし♡
泣いちゃええ♡
泣いちゃええ♡

わーすごいっ
見て見てっ
こんなには
ねばねば涙
出てきたよっ♡

泣き虫くんは
ちんちんも
泣つき虫いっ♡

どうどう？
いっぱい泣けたから
スッキリしたでしょー？

し、した……！
したから……っ
も、もう……
ヤメ……っ

ん、でもちよっと
泣き足りないかな？
まだ張ってるね

もっと慰めて
あげたほうが
よさそうだねっ

え……ま
まだするの……!?

ちよ……待っ

それから
お姉ちゃんは

今まで以上に
僕につきまとして
来るようになり…

もーいー
かーいー?

ちよ
ちよと

お姉ちゃん
…っ!

今かくれんぼの
最中だから…っ!

だって
もうパンパンに
なってるよ?

また泣き虫涙
溜まってるんですよ

どこだ
っ

それは
お姉ちゃんから
くっつくから
…っ!

しいだら鬼に
騒いじゃうよ
見つかっちゃうよ

あっ
鬼
行ったみたい
だよ

よしよし
もう大丈夫
大丈夫
♡♡

ちよ
手…止め…っ

鬼に
見つかりそうで
怖かったのかな?
泣き虫 ♡





えっんって♡

ほらほら
ちんちんも
おっぱい
吸いながら

慰めるのでした
楽めたいのだ
み



なんかん
だんかん
分かたよ

気まぐれで
何を考え
分らない
お姉ちゃん
は
いつも僕
の
制止を聞
かず



先っぽも
ないんだ
ね



つ、疲れた
今日は
早く寝...

ばあ♡

「お姉ちゃん
で興奮した
なんて
恥ずかしくて
言えない
僕は...

ただただ
振り回され
た
しかな
かった

わあ
まだ出るっ
泣け泣け
もっ
と泣け♡



だけど最近
お姉ちゃんの様子
が少しおかしい

たっ

たっ

たっ

ん...お...お...

ん...



今日も...
いっぱい出た
泣き虫...
泣き虫...

いつも僕を
小馬鹿にするの
からかってくるの



お：お姉
ちゃん：...？



お...

お...



な慰な
つめんだか
てるのに夢中
に
なような...

ちよ
お姉ちゃん!?

出い今
たばっか

それから
しばらくして
お姉ちゃん
は姿を
見せなくな
った



ううう...
なんでか最近
お姉ちゃん
の事ばかり
考えてる...

僕は別に
そんなん
じゃ



今な
にして
るの
かな...



お姉ちゃん...



今日も
みんなの
遊び場
に
来な
かった
はま...
またど
こか
遊び
て
い
るの
かな...
自分
と
な
ん
だ
か
ら...





お姉ちゃん……
君の事
考えると……

泣き虫に
なつちやうから
……



だからね……
お姉ちゃんのこと……
……慰めてくれる
……♡



自分で撫でて
慰めようとして……

やっぱり
誰かの胸の中
スツキリしなくて……

お姉ちゃんの
ココが……
貴方に
慰めてほしいって
言ってるの……

ヌキヌキ



ダメよ...

やっぱいい気持ちいい♡

ぐん...っ
お姉ちゃん...



ちんちんで撫でられるの気持ちいい♡

は...
もっとなでなで...♡



もっとなで♡

あ...あ...
待っ...





おっぱい
パンパ
ンするの好きっ♡



お姉ちゃんの中が
きゅんきゅん
して……っ
慰められてる
って感じて……



気持ちいい
……っ♡



……っ♡
……っ♡

お姉ちゃ
……っ♡



うん
っ
……
やっぱり

好きな子が好きって
言ってくれると
嬉しい……っ
♡



ココが嬉し泣き
しちやっただね
よしよし
♡

そん……
そっかそっか



あれあれ
あれ！
なんで！
なんで！

ん？



……
……
……
ツ

じゃあ
またあ
慰めて
あげるね
泣き虫くん
♡



2017/12/29 C93
あたため上手の霊夢さん



ちよっと
アンタ大丈夫……っ!?

し、しっかり
しなさいって
ばあ……!!

まさか
こんな事に
なるだなんて……

は……あ

やっぱりあの時
あんな事
吹き込まなきや……







えーと...

妖怪相手ならさすがに
いざ知らず 子供は無碍に
しづらいわ...

こんなこと初めてで
少し気が動転して
しまったわ...



呼び出されたから
てっきり妖怪の類の
相談かと思っただら...

まさか里の子に
こんな熱烈な
告白をされて
しまうなんて...



あの...

とはいえ
受ける訳にも
いかないし

きちんと
断らないと...



ダメ...ですか...?

う...っ

フ...



結局この時...
ハッキリとは
断りきれず

曖昧な返答で
誤魔化してきた...
しまった...

— だけど
それが間違い
だったみたい...

『神社に通って
たくさんお参りして
信仰を積んでいったら
いつか叶うかもね』

なんて
ていよく凌いだけど
つもりだったけど

まさかそのせいで
この寒空の中
子供が一人

お百度参りを
試みるとは
思わなかった……っ

まったく
アンタ……

私の言葉を
真に受けすぎ
なのよ……

気づいた時には
何往復もした
足跡を残して
境内に倒れていた

それで慌てて
室内に担ぎ込んで
きたのだけど……

はあ……
どうすんの……

どうしたら
いいの……っ
これ……っ







スル

別に意識なんて
してないし……

恥ずかしいこと
じゃないし……

だからこれは
必要な行為だし……

ただ……
ただ……
暖めてあげる
だけ……



服越しじや
暖かさ伝わり
辛いし……

やっぱり直接
触れないと
ダメよね……



落ち着いて……
相手は子供だし……

ぷっく……

ぷっく……



……でも
今だけは
目を開けないで
よね……

驚いてないで
しっかり暖めて
あげないと……っ

お、思った以上に
冷たくてピツクリ
しちゃった……っ

は……

pino

——やっぱり

ただ撫でたり
さすってるだけじゃ
効率が悪いわ……

密着して
擦り付けて
体温を移す方が……

——……っ！

フッ

……っ
……っ
……っ
……っ

っ、冷たくて……
小さい男の子の
身体がびったり
くっついて……

は……

なんだか
敏感になっ
て……
ゾクゾク……する……っ

お、落ち着いて……
じっくりやってれば
大丈夫……

暖めてるだけ……
暖めてるだけ……
なんだから……っ！

……っ

きし

……っ





うん……
少しづつ血色が
良くなってきた
みたい……っ

まだ冷えてるけど
多少はマシに
なってきた……

ふっ……

のはい
いいんだけど

なんか……
すごい
あたってる……

な、なん
なのよ……

暖まっ
きたから……？
刺激に身体が
反応したから……？
それとも
私、だから……？

はっ……

はっ……

はっ……



なんにせよ
このままはおつては
おけないし……
ここの暖めて
あげないと……

は……

は……

は……

は……



ちゆめたら……

ん……
先っぽから
少し出てきてる……



わ……
擦ってあげると
びくびくして
膨らんでく……

は……

は……



出して……
あげなきゃ……

こんなの
溜まったら
冷えるじゃない……

は……

は……

なんなのよお...

暖かくしてあげてるだけなのに...
なんか...
止まらない...

触れて...
握って...

擦り付ける度に...

私もだんだん...
熱くなってる
きちゃ...





こここんな..
いっばい..
出るのね..

ちよつと..
夢中になって..
やりすぎ..
ちやったかも..



これなら..
もう十分よね

このまま..
寝かせておいても..
きつと大丈夫..



ーでも..
良かった..

顔色も良く..
なってきたし..
寝息も大きくなって..
そろそろ目を..
覚ましそらね..



だけど
もうちよつと

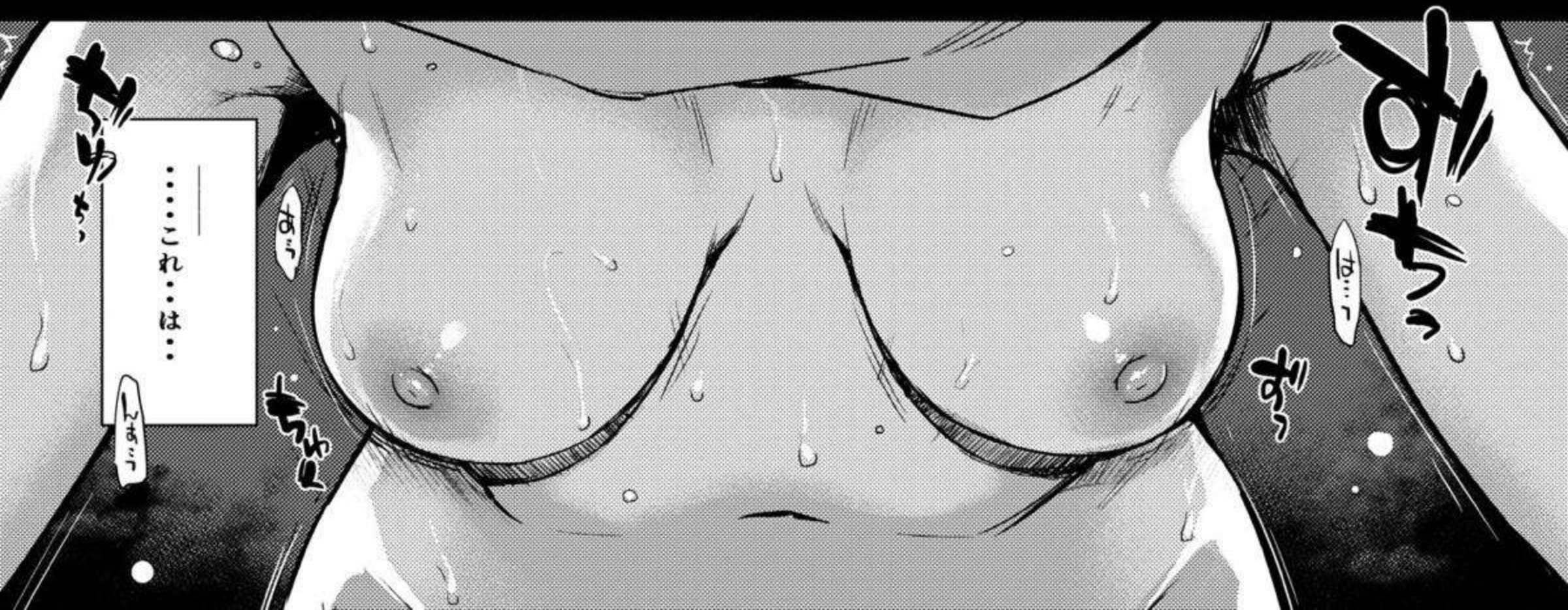
もうちよつと
だけ

クッ

暖めて
あげた方が
いいよ……っ

あ……

あ……



クッ

あ……

グッ

……これは……

あ……



これは……
夢……—？

霊夢：さん？
はだか……で
何して……？

ダメだ……
ポーンとして
頭が回らない……
なにこれ……
なんか変な感じ
がする……

なんだか
ふわふわで……
ぽかぽかと
暖かくて……



またイワ……

イワ……

ゴッゴッ
パッパッ

イワ……

ゴッゴッ
パッパッ

暖まり…
たい——っ

ちよ…っ
アンタ起きて
…っ!?

なんで…
だろう…

や…!?
嘘…待っ…!

ほ

暖かいの
引張られる
みたいに
身体が勝手に
動いてる…

動いちや…
あ…あ…っ

ばい…イッたに



気持ち良くて止まらな



だんだんと意識がくらくらしていくのを... 感じながら...

僕は夢の中でまた眠りに落ちた

ぼかぼかして... 溶けていくみたいで...



ほら ちゃんと首まで着込んだら寒くないでしょ

もうあんなマネしちゃ駄目よ

は、はい...



それから昨日のことを聞いてみたのですが

やっぱりあれは夢だったようですよ... あれは一体なんだろう...



翌日 目が覚めた僕は お百度参りを 勝手にしたことでお叱りを受けました



でも――

れ、霊夢さんも来るんですか…？

当然でしょ

アンタは病み上がりなんだからまた倒れたらどうすんの

ちゃんと家まで送っていくわよ



ほら……

この時の
霊夢さんの手は

夢の時みたい
暖かかったです



2016/08/13 C90
酔いどれですかっ文お姉さん！



あやさくん

しつかりして
くださーい…
文さん
ってぼーっ

んま…

ダメだ
全然起きない…



ん…うん…っ

えぞっ

わっ
ちよっ…?!
見え…っ!

うう…もお…

こんな
無防備な
文さん…

目のやり場に
困ります…

しつかりして
くださーいよ…

まったくー

こんな
こんなことに…

がぁぁ…

キリッ

嫌いでお酒は嫌いです



あやややく？
せつかくの
宴会なのにお茶ですか？



あらでね
も嫌わらすたね
退散
退散



もう！
からかう
文さんか
嫌いです
ほっといて
ください

この美味しさ
分らないとは
相変わらず
お子様です
ねえ

味が嫌い
なんです
いいじゃない
ですか



ねえ
あんな
好文の
コト？





ちゅーっ♡

ななに言って...?
かい加減からかわないで
ください...

ちゅーっ♡
ちゅーっ♡

キョーッ



えへへ...
ちゅーしちやい
ましたあ...♡



あ文さん...!
もしかして...
かなだり酔って...?

はふう...
なんだから
火照りま
すねえ...



もっと...
あ...そこ...あ...

あいや...
一人で入って
ほしかったん
ですけど...

らってえ
一人じゃあ
クラクラして
洗えないです♡

落ち着け...
今の文さんは
酔っぱらっていて...
僕はその
介抱を
するだけ...

うう...
分かり
ましたよ...

だか
なら
いよ
うに...
変な
考え
だ...

あ...ん...う...
きもちいい...♡

じゃあ
つきい...



前も

洗って
ください…♡

ま前は
自分で…♡

ちよ…♡

やですう♡

自分じゃ
出来ない♡

こうやってえ
むにむに…♡

あっぱいも
キレイキレイ
してえ♡

酔っぱらってる
文さんに
こんなこと…♡

ダメ…♡!

文さん
しっかり
して…♡?

こんなの…
普段の
文さんの
違いな



そうっ
しっかり…

両手使って
ください♡

先っぽも指で
ぎゅって…

ん…っ

あ…っ

頭がおかしく
なりそう…

わ…

んら…
乳首立っちゃう…♡

わ…っ

じゃあ
交代っ

次はお姉さんが
洗ってあげ
ますよあ…♡

え…
いやっ
ま
待って…っ…!

今は
その…っ

遠慮
しないの

ほら
隠さないでえ…

そこは
ダメで…っ!





お姉さんいいに
甘えておっ...
ですよっ...

ちよっ...
文さん...っ?!

遠慮
しないで...

もっと
素直に
なっ

たっ

たっ

たっ



気持ちいい
事だけ考えてえ
おっぱいに
びゅっびゅっして
いいんですよ...

僕のが
見えない...っ

何コレ...?
文さんの
おっぱいで...

ちんちん
よしよし...
いい子お...

おきゅ

おきゅ

おっ

おっ

おっ



お姉さんが
たくさん出して
あげまふう...

いいん
ですよ...
我慢しない
でえっ...

だめ...また
でちゃう...
出ちゃう...

可愛い...
しちゃって



こんなに...
素直なびゅっぴゅ
出来ましたよ...
気持ちよかったですか...?

うあ...
あやさ...

あやあ...
まだまだおっきい
まんまですわ...



ほあ
見てください...



んっっ
凄い勢い...♡

おっぱい
ズンズン



どうし
ます...?
もっと
お姉さんに
甘えちゃいます...♡

吸いながら
おっぱい
たくさん
射精します
よお...♡

ホントは
甘えるの
好き...♡
お姉さんの
おっぱい
好き...♡

好き...っ
好き
です...っ



わ...っ

ズンズン

なら
もっと...

もっといっしょ
甘えて
ください...♡



おっぱい
好き...っ

好き...っ
文さん...っ!

...♡

気持ちいの
好き...っ



いっばい
好きって
伝えてください♡

だから...
大好きな
文お姉さんの
ココに...

わ...わっ
この
当たってる
とこ...っ

これは...
私ひとりじゃ
出来ませんから...

あ、文さんの
おま...ま...っ

ぬ...っ♡

...っ

文さんッ

あやさ...

あや
さん...っ

あ...っ



う...あ...気持ち...

いいんですよ...
素直に
気持ちよく
なって...

お姉さん
好き好きって
して...

あ...あ...



ずっと...
ぼく...ぼく...!

好き...
文さん
好き...

好きっ
すきいっ!



文さんの事
ぜんぶ...っ
ぜんぶ
すきい...

大好き
です...っ!



文さん
好き...っ
好き...っ

んっ...
うれひい...っ

もっ
もっ
お姉さん
が...っ

スッ

スッ

スッ



わたしが...
全部受け止めて
あげるから...っ

だから
甘いっばい
もっ
もっ
好きに
なっ...っ

んっ...
あや...さ

スッ

スッ

スッ



だから...っ
わたしの事
いっばい
好き
っしてえっ

んっ...
ああ...あ

スッ

スッ

スッ





たまたま
手に入つたので
いまには
いかな、と……!

はあ……
じゃあ今晚
飲みますか?

こんばんは?
いえあの……

こ……
心の準備が
出来てないんで
また今度でっ!

失礼
します!!

あ
ちよつと……

……
ほんと
……っ

素直
じゃない
ですねえ……



まあ……
私の方が
素直では
ありませんけど……

天狗は
お酒……
強いですよ……
♡





あれ？
どうしてたり
きりやつたよ♡

なんでかなあ？
女の子なの
不思議だね♡

3.

んんん

んんん

んんん♡









ANMITSU TOUHOU HISTORY Vol.3

発行日 ■ 2019/05/05

発行元 ■ あんみつよもぎ亭

発行者 ■ みちきんぐ

web ■ <http://anmitsuyomogi.seesaa.net/>

pixiv ■ 2361345

印刷 ■ 株式会社 上野印刷所

画像の転載、データ化、web上での
データ共有はご遠慮ください

2016.04 - 2017.12
ANMITSUYOMOGITEI

OSEWA SHINAIDE Flan One-CHAN!
YOIDORE DESUKA Aya One-CHAN!
KARAKAI JOUZUNO Alice SAN!
NAGUSAME JOUZUNO Koishi CHAN
ATATAME JOUZUNO Reimu SAN